NT ネットワークライセンス

スタートアップガイド

株式会社 ニコン・トリンブル

(MO9227)

目次

1. はじめに....2
NT ネットワークライセンスについて....2
本書について....2

2. セットアップの前に....3
基本事項....3
セキュリティ方式....4
動作環境....5
推奨環境....5

3. コンピュータのセットアップ....6
ファイル共有サービスの設定....6
ファイアウォールの設定....6
ユーザーアカウントの設定....7
システム時計の設定....8

4. ネットワークライセンス方式でのセットアップ....9
NT ネットワークライセンスサーバーのセットアップ....9
クライアントアプリケーションのセットアップ....14
アンインストール....15

5. NT ネットワークライセンス機能の利用....16
アプリケーションの実行....16
ライセンスの取得と返却....16
ライセンスの取得単位....16

6. ライセンス管理ツールの利用....17
ネットワークライセンス管理ツール....17
基本情報の確認....17
オンライン認証（アクティベーション）....18
インストール後のプログラム管理情報の更新....18
ライセンス情報の確認....19
手動でのライセンス取得と返却....19
ライセンスのチェックアウト....20
ライセンスのチェックイン....20
チェックアウト期限の延長....21
クライアントのバージョン管理....22

7. 障害対策....24
サーバーに関する障害対策....24
クライアントに関する障害対策....24

8. 制限事項....25

9. 付録....26
コンピュータ設定の手引き....26

1. はじめに

NT ネットワークライセンスについて

NT ネットワークライセンスは、ネットワーク上のサーバー機能で複数のライセンスを集中管理し、クライアントアプリケーション実行時に、ネットワークを通じて動的にライセンスを制御するフローティングライセンス方式です。

購入ライセンスの範囲内で同時使用を制御する方式により、ライセンスを特定のコンピュータに固定する必要性がなく、お客様の業務内容と稼働状況に応じて最適なライセンス購入と利用環境をご提供します。

また、サーバー機能でライセンスを集中管理するネットワークライセンス方式では、サーバー機能に障害（コンピュータの故障やセキュリティキーの故障）が発生するとすべてのライセンスが利用できなくなる問題に対しても、迅速に復旧する為の障害対策機能を備えていますので、安心してご利用いただける機能となっています。

NT ネットワークライセンスで、お客様の業務の効率化とコスト縮減にお役立ていただければ幸いです。

本書について

本書は、NT ネットワークライセンスサーバーとクライアント環境のセットアップ手順と利用手順について記載しています。導入前に必ず本書をご確認下さい。

また、NT ネットワークライセンス環境で使用するクライアントアプリケーションについては、通常のライセンス方式と異なる点のみを記載しています。各アプリケーションの詳細は、アプリケーションに付属のスタートアップガイド等を参照下さい。

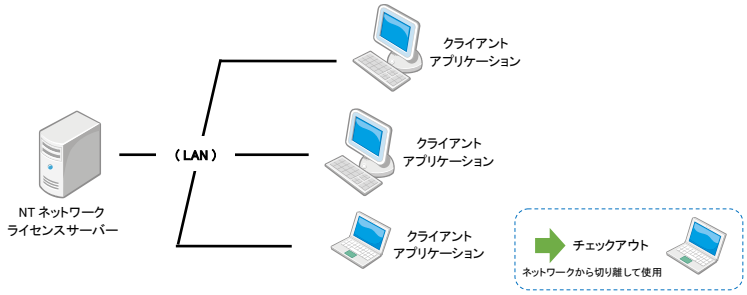
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

2. セットアップの前に

基本事項

■ 機能の構成

NT ネットワークライセンス環境は、ライセンスを集中管理する為のサーバー機能とライセンスを利用するクライアントアプリケーションで構成されます。
クライアントアプリケーションは、LAN 上のサーバーからライセンスを取得して動作します。



■ NTネットワークライセンスサーバー

ネットワーク上でライセンスを集中管理する為の機能です。
ネットワークライセンス環境の最初にセットアップし、セットアップ後もすべてのクライアントに先行して起動しておく必要があります。
NT ネットワークライセンスサーバーは、サービスプログラムとしてインストールされますので、コンピュータを起動するだけで利用可能です。（ログインは不要です）

■ クライアントアプリケーション

NT ネットワークライセンス対応アプリケーション（TOWISE 等）がクライアントになります。
クライアントアプリケーションは、セットアップ時にネットワークライセンスモードを指定してセットアップします。
ネットワークライセンスモードでは、クライアントアプリケーションにプログラム管理情報やセキュリティキーは必要ありません。
必要な数だけセットアップしておくことができます。

■ ライセンスのチェックアウト

クライアントコンピュータは、必要なライセンスをチェックアウトして、ネットワークから切り離して利用することもできます。
チェックアウト機能では、ライセンスサーバーが管理するライセンス情報をクライアントコンピュータへ持ち出し、スタンドアローンと同様の利用を可能にします。

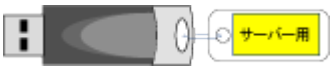
セキュリティ方式

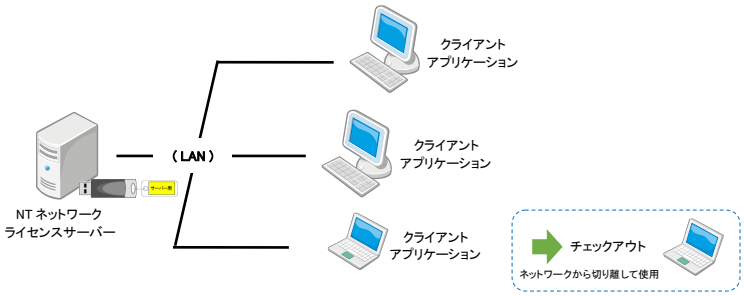
NT ネットワークライセンスサーバーではセキュリティ管理方式として、サーバーセキュリティキーを利用する「セキュリティキー方式」と、インターネットを利用する「オンラインセキュリティ方式」の 2 種類があります。

どちらの方式を利用するかは製品購入時に決定し、プログラム管理情報にどちらの方式を利用するかの情報が登録されています。（製品購入後に切り替えることもできます。切り替え手続きの詳細は、最寄りの販売店までお問い合わせ下さい）

セキュリティキー方式

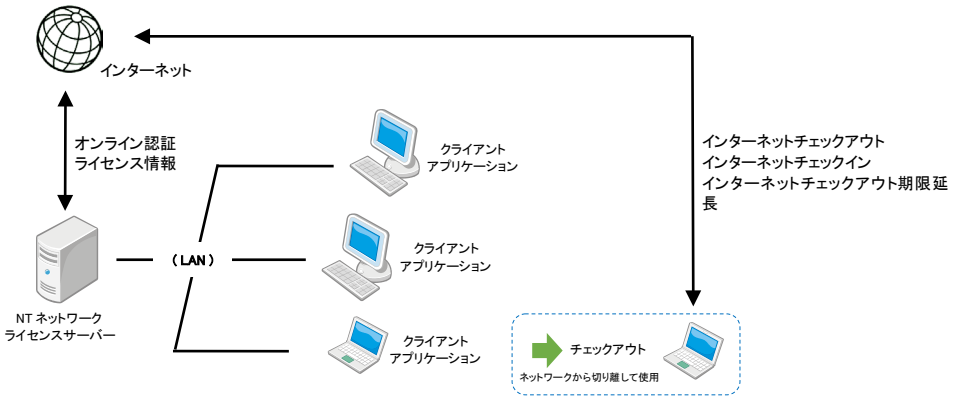
サーバーコンピュータにサーバー用のセキュリティキーを接続し、セキュリティキーでライセンスを管理する方式です。以下のセキュリティキーをサーバーコンピュータに接続して利用します。クライアントでは、LAN に繋がっている時もチェックアウトして利用する時も、セキュリティキーは必要ありません。

サーバー用セキュリティキー	



オンラインセキュリティ方式

インターネットのサーバー上でライセンスを管理する方式です。この方式ではセキュリティキーは必要ありませんが、代わりにインターネット接続環境が必要です。ライセンスサーバーコンピュータがライセンスをオンライン認証（インターネットサーバー上にアクティベーション）することで、インターネットサーバー上にライセンス情報を登録し、クライアントでは、インターネットを介したチェックアウトやチェックイン等を利用できます。



動作環境

NT ネットワークライセンスサーバーの動作環境は、以下のとおりです。
クライアントは各アプリケーションの動作環境に準じます。

OS	Windows Server 2022／2019／2016／2012 Windows 11／10／8.1　※1, ※2
CPU	各 OS の推奨スペック以上
必要メモリー	各 OS の推奨スペック以上
必要 HD 容量	プログラム領域として 200MB（推奨 1GB 以上）
動作条件	(1) セキュリティキー方式の場合は、常時装着可能な USB ポートを備えていること (2) オンラインセキュリティ方式の場合は、インターネットへ接続できること (3) ネットワーク(LAN)接続が可能なこと(100BASE/1000BASE/10GBASE) (4) Windows のファイル共有サービスが利用可能なこと　※3

※1. 64bit 版 OS では、32bit 互換モード（WOW64）での動作になります。
※2. サーバーOS では、接続するクライアント数によって別途 CAL(クライアントアクセスライセンス)が必要な場合があります。ご利用 OS の CAL の詳細は、購入元へご確認下さい。
またクライアント OS には、同時に接続できるコンピュータ数に制限があります。
サーバーOS では、デスクトップエクスペリエンス（GUI）をインストールして下さい。
※3. 設定の詳細は、「**3. コンピュータのセットアップ**」を参照下さい。

推奨環境

■サーバー専用機設置の推奨

NT ネットワークライセンスサーバーは、クライアントアプリケーションと同じコンピュータへ設置することも可能ですが、アプリケーションを実行することによる負荷やコンピュータ再起動時のネットワークライセンス機能の停止などを考えて、安定したネットワークライセンス環境を運用する為に、サーバー専用機を設置することをお勧めします。

■サーバーOS の推奨

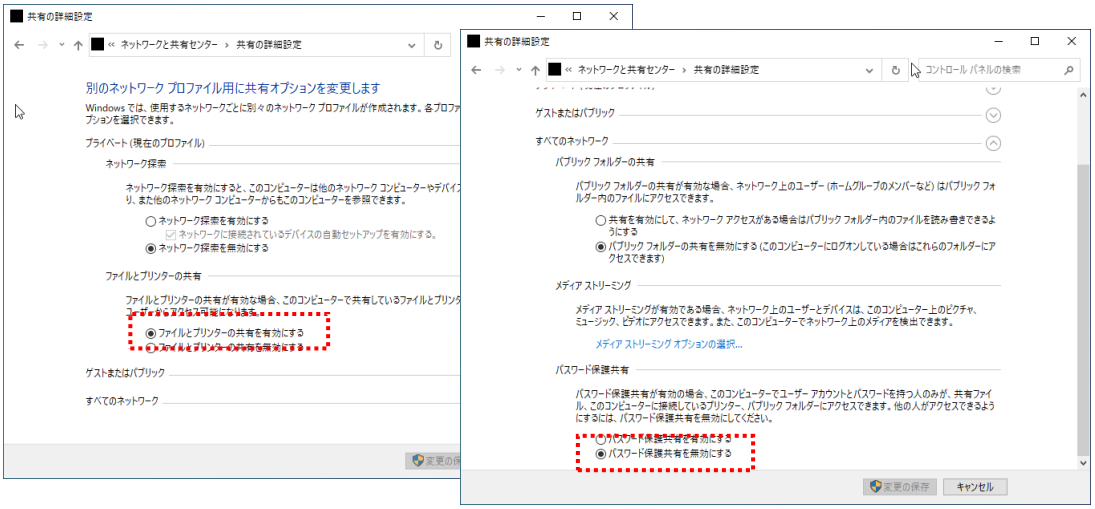
動作の安定性や接続数の制限を踏まえ、サーバー機能に特化したサーバーOS(Windows Server 2022 等)を採用することをお勧めします。

3. コンピュータのセットアップ

ファイル共有サービスの設定

設定対象：サーバー

NT ネットワーライセンスでは、Windows のファイル共有サービスを利用しています。
サーバーコンピュータでは、必ずファイル共有サービスを有効にして下さい。
また、後述のゲストアカウントを有効にする場合は、「パスワード保護共有」を無効にする必要があります。

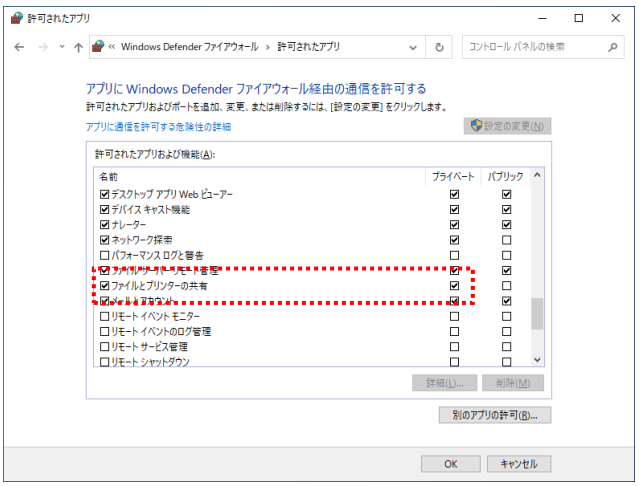


※画面は Windows Server 2022 の場合です。 OS ごとの操作手順は、「9.付録」を参照して下さい。

ファイアウォールの設定

設定対象：サーバー

Windows のファイアウォール機能を有効にしている場合は、例外設定でファイル共有サービス（ファイルとプリンタの共有）が許可されるよう設定して下さい。
Windows ファイアウォールの代わりに、ウィルスチェックソフトのファイアウォール機能を利用している場合も、ファイル共有サービスに該当する設定を許可して下さい。



※画面は Windows Server 2022 の場合

ユーザーアカウントの設定

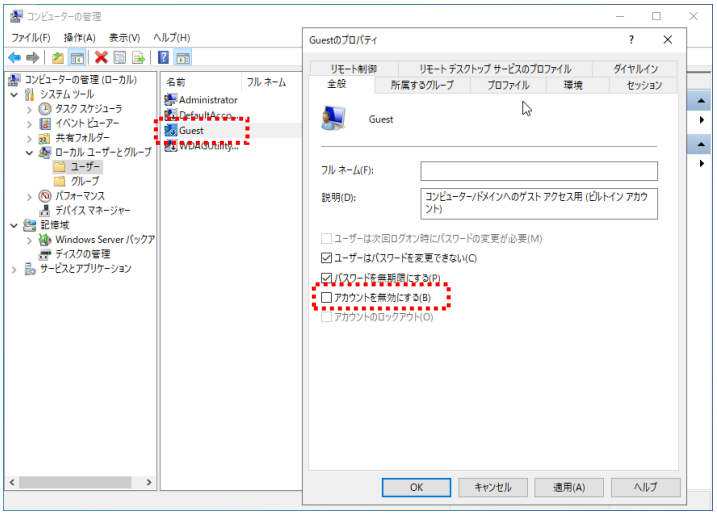
設定対象：サーバー

クライアントコンピュータからサーバーコンピュータへスムーズに接続できるよう、サーバーコンピュータで、適切なアカウントを設定しておく必要があります。
本手順では、すべてのクライアントからのアクセスを許可するゲストアカウントを有効にする方法を記載していますが、接続するクライアントを限定する場合は、ユーザーアカウントを必要な分だけ登録して下さい。

エクスプローラなどで、クライアントからネットワーク上のサーバーコンピュータを選択するとパスワードの入力が求められるような場合は、NT ネットワークライセンスでは接続エラーになります。

■ ゲストアカウントを有効にする

すべてのクライアントから接続可能にするには、アカウント「Guest」をクリックしてプロパティを表示し、「アカウントを無効にする」のチェックをオフにします。



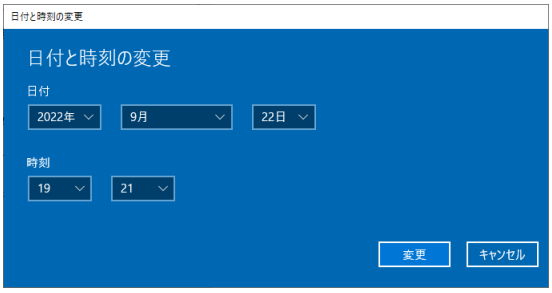
※ゲストアカウントを有効にする場合は、「ファイル共有サービスの設定」で説明した「パスワード保護共有」を無効にして下さい。

※画面は Windows Server 2022 の場合です。 OS ごとの操作手順は、「9.付録」を参照して下さい。

システム時計の設定

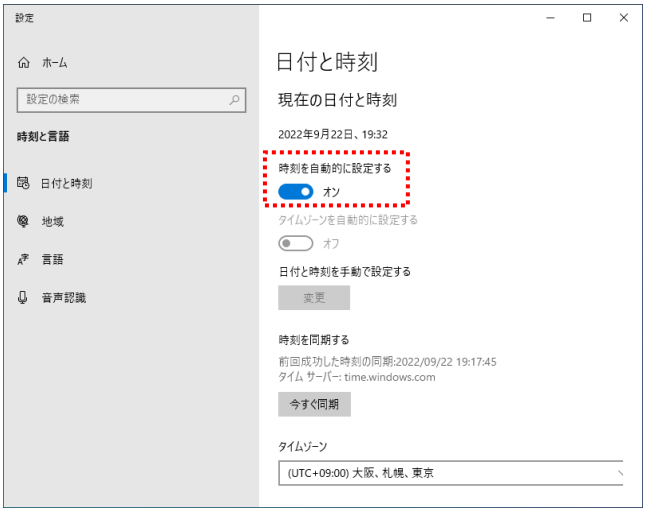
設定対象：サーバー/クライアント

NT ネットワークライセンスのチェックアウト機能には、ライセンスの有効期限を管理する機能が含まれます。
セットアップの前には、コンピュータのシステム時計が正確であることをご確認下さい。
また、NT ネットワークライセンスに接続するすべてのコンピュータのシステム時計も、同様にご確認下さい。（現在時刻との数分程度の誤差は問いません）



※画面は Windows Server 2022 の場合

コンピュータがインターネットに接続できる場合は、「時刻を自動的に設定する」をオンにことをお勧めします。



※画面は Windows Server 2022 の場合

動作中に NT ネットワークライセンスの有効期限制御へ支障を来たすシステム時計の変更を検出すると、ライセンスがロックされて利用できなくなる場合があります。
詳細は、「８．制限事項」を参照下さい。

4. ネットワークライセンス方式でのセットアップ

NT ネットワークライセンスサーバーのセットアップ

■ インストールに必要なもの

- NT ネットワークライセンスサーバーセットアップ CD
- ライセンスコード通知書、またはプログラム管理情報
- サーバー用セキュリティキー（セキュリティキー方式の場合）

※インストールには管理者権限が必要です。

■ セットアップ手順

(1) サーバーセキュリティキーの接続タイミング（はじめてのインストール時）

セキュリティキー方式のプログラム管理情報をコンピュータにはじめてインストールする場合は、セキュリティキーを接続せずにセットアップを実行して下さい。
セキュリティキーに必要なドライバーをこのセットアップで導入します。セットアップ中、セキュリティキーの接続を促すメッセージが表示されてから接続して下さい。



ドライバーセットアップ前にセキュリティキーを接続した場合、自動的に表示される Windows のドライバーセットアップ画面は、必ずキャンセルして下さい。

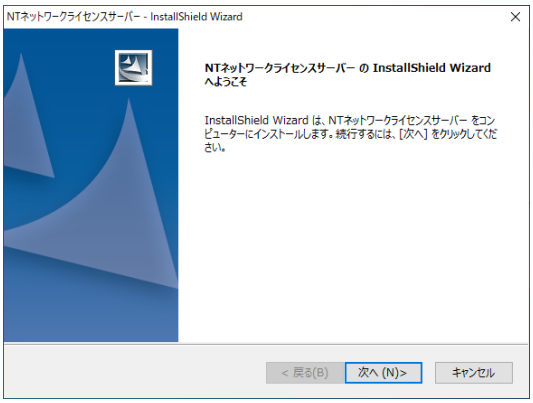
(2) セットアップの起動



CD ドライブにセットアップ CD を挿入します。自動的にセットアップメニューが開きます。

※セットアップメニューが自動的に開かない場合は、CD ドライブの「InstMenu.exe」を実行します。

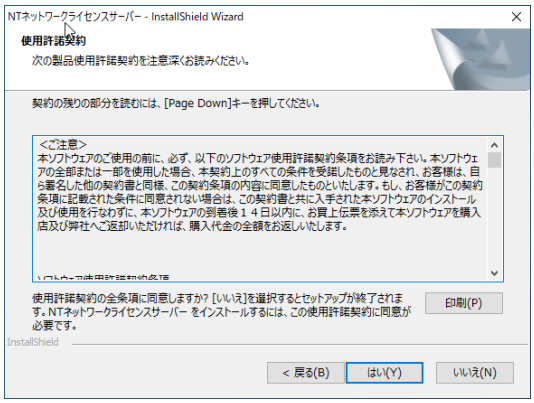
(3) インストールの実行



セットアップメニューから「NT ネットワークライセンスサーバーをインストール」をクリックして実行します。
画面の内容を確認の上「次へ」をクリックします。

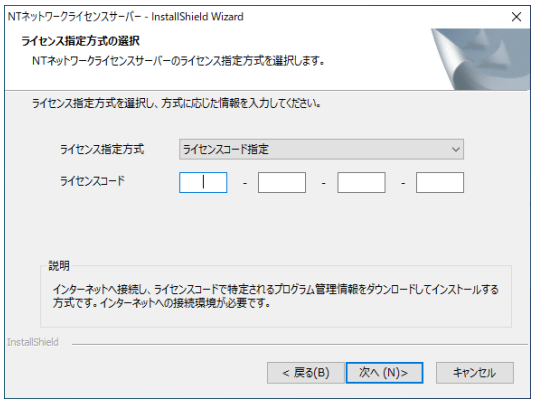
以降、画面の指示に沿ってセットアップを進めます。

(4) 使用許諾契約への同意



NT ネットワークライセンスの使用許諾契約条項を確認します。
契約内容に同意いただいた上で、「次へ」をクリックします。

(5) ライセンス方式の選択



ライセンス方式を選択し、方式に応じた情報を入力して「次へ」をクリックします。

ライセンス方式について

◆ライセンスコード指定



ライセンスコード通知書に記載のライセンスコードを入力します。

※インターネットへ接続してライセンスコードに該当するプログラム管理情報を取得します。
インターネットに接続できない場合は、次頁に記載の「プログラム管理情報ダウンロードツール」をご利用下さい。

◆プログラム管理情報パス指定



プログラム管理情報ファイルを保管しているフォルダのパスを指定します。

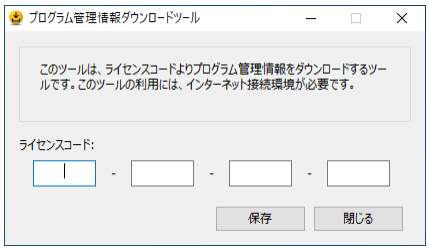
ポイント

「ライセンスコード指定」モードについて

「ライセンスコード指定」モードは、NT ネットワークライセンスサーバー Ver.1.0.5.0 から対応された新しいプログラム管理情報の提供方法です。製品をご購入の際に送付される「ライセンスコード通知書」に記載されたライセンスコードを入力し、インターネット経由でライセンスを取得する方式となっていますので、インストールにはインターネット接続が必要です。

ポイント

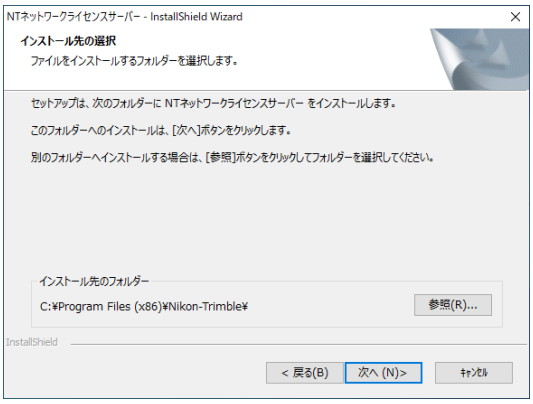
「プログラム管理情報ダウンロードツール」について



インターネット接続できない環境では、「ライセンスコード指定」モードでインストールすることはできませんので、あらかじめインターネット接続可能な環境でプログラム管理情報をダウンロードし、「プログラム管理情報パス指定」モードでインストールして下さい。
プログラム管理情報のダウンロード用ツールは、インストール CD に収録されています。

<プログラム管理情報ダウンロードツール>
CD ドライブ:¥Tools¥ntlcdl¥NTWebDownloadTool.exe

(6) インストール先の指定

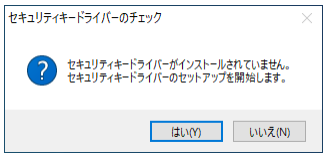


インストール先を指定します。
必ずローカルコンピュータ上のパスを指定して下さい。

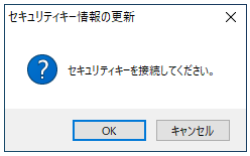
「次へ」をクリックするとインストールを開始します。

■セキュリティキー方式でインストールする場合

セキュリティキー方式のプログラム管理情報ではじめてインストールする時は、セキュリティキードライバーの導入が必要です。

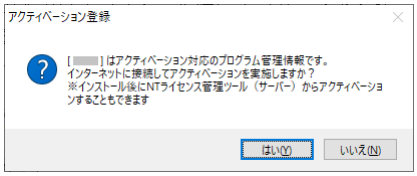


導入後、セキュリティキー接続メッセージが表示されたら、セキュリティキーを接続し、セットアップを続行して下さい。



■オンラインセキュリティ方式でインストールする場合

オンラインセキュリティ方式では、ライセンスサーバーを機能させるにあたってインターネットサーバー上にコンピュータをオンライン認証（アクティベーション）する必要があります。インストール時にアクティベーションするかの確認メッセージが表示されますので、「はい」を押下してアクティベーションを実行して下さい。



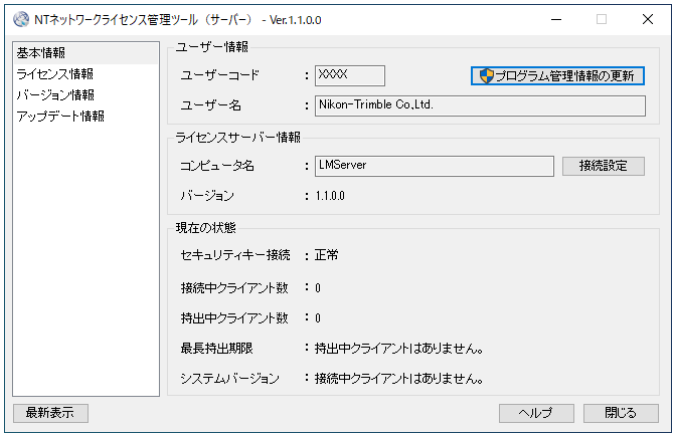


他のコンピュータが当該ユーザーコードをアクティベーション中は製品をインストールできません。アクティベーションしているコンピュータでアクティベーション解除を実行してからインストールを行って下さい。

(7) インストール結果の確認



ライセンス管理ツール（サーバー）機能で、ネットワークライセンスの現在の状態を確認できます。デスクトップのライセンス管理ツール（サーバー）アイコンをダブルクリックして起動します。

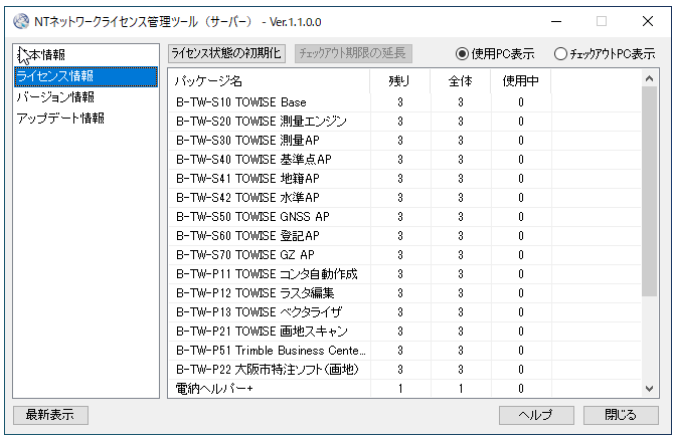


※画面はセキュリティキー方式の場合

■基本情報の確認

セキュリティキー接続状態など、基本的な情報が表示されます。

※クライアントからサーバーコンピュータへの接続をコンピュータ名でなく IP アドレスで指定する必要がある場合は、［接続設定］をクリックして設定を行います。



■ライセンス情報の確認

購入パッケージの一覧と各数量が表示されます。
正しくインストールされていることを確認します。

NT ネットワークライセンス環境を有効にする為に、セットアップ後はサーバーコンピュータをすべてのクライアントに先行して起動しておく必要があります。（ログインは必要ありません）

クライアントアプリケーションのセットアップ

■ インストールに必要なもの

- アプリケーションセットアップ CD

※クライアントは、NT ネットワークライセンス方式に対応した各アプリケーションになります。
ここでは、代表的なクライアントアプリケーションの手順でご説明します。

※インストールには管理者権限が必要です。

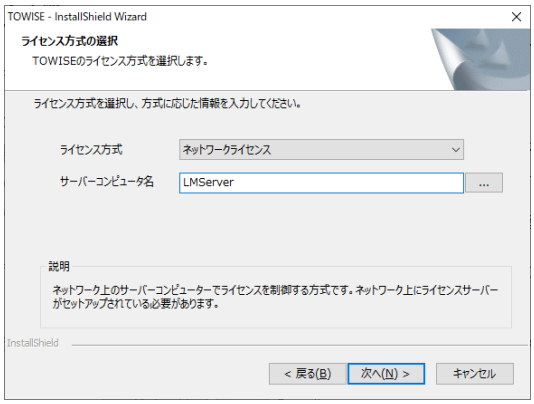
■ セットアップ手順

(1) セットアップの起動

CD ドライブにアプリケーションのセットアップ CD を挿入して実行します。

※通常の各アプリケーションのセットアップ手順になります。

(2) ライセンス方式の選択



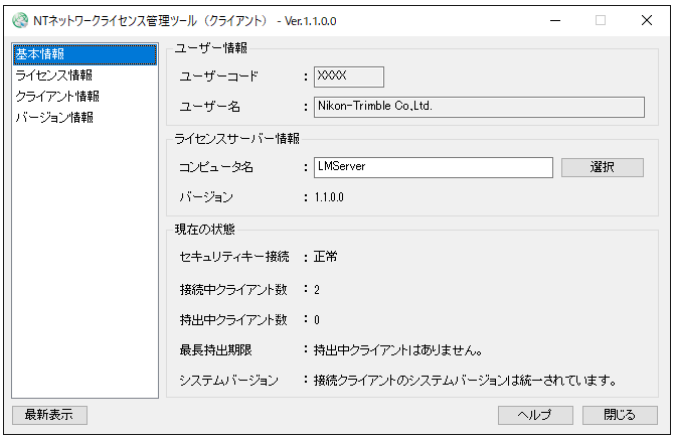
NT ネットワークライセンス方式に対応したアプリケーションでは、ライセンス方式の選択画面が表示されます。
「ネットワークライセンス」を選択し、サーバーコンピュータを指定します。
その他は、通常のアプリケーションのセットアップ手順になります。

※サーバーコンピュータは IP アドレスで指定することもできます。

(3) インストール結果の確認



ライセンス管理ツール（クライアント）でネットワークライセンスの現在の状態を確認できます。デスクトップのライセンス管理ツール（クライアント）アイコンをダブルクリックして起動します。



■基本情報の確認

セキュリティキーの接続またはアクティベーションの状態など、基本的な情報が表示されます。
その他の情報も必要に応じて確認して下さい。

これらの情報はサーバー機能から取得した情報が表示されます。情報が正常に表示されていれば、サーバーとの接続は良好です。

アンインストール

■ NT ネットワークライセンスサーバーのアンインストール

コントロールパネルからプログラムのアンインストールを実行します。
インストール済みの「NT ネットワークライセンスサーバー」を選択して実行します。



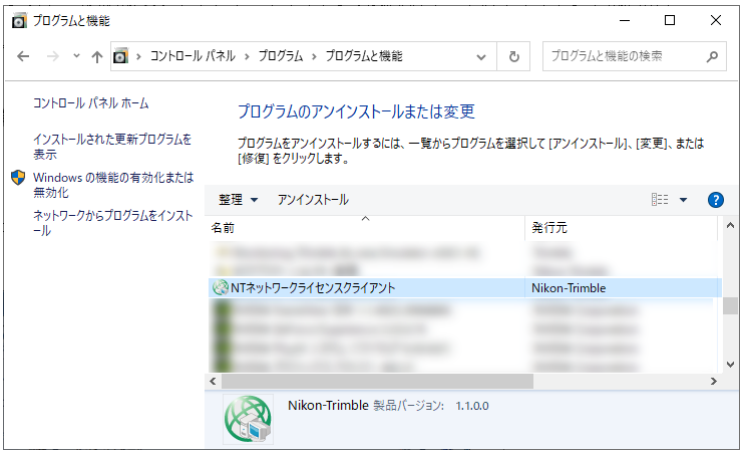
※ 画面は Windows Server 2022 の場合



アンインストール後は、NT ネットワークライセンス環境のすべてのクライアントは利用できなくなります。

■ クライアント機能のアンインストール

ネットワークライセンス方式でアプリケーションをセットアップすると、アプリケーションとは別に、「NT ネットワークライセンスクライアント」もセットアップされています。
ご利用のコンピュータで、すべての NT ネットワークライセンス対応アプリケーションを利用しなくなった場合は、プログラムの追加と削除からアンインストールして下さい。
アプリケーションのアンインストールでは同時にアンインストールされません。

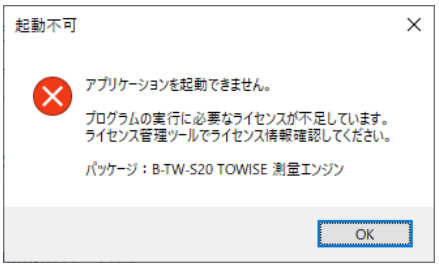


※ 画面は Windows 10 の場合

5. NT ネットワークライセンス機能の利用

アプリケーションの実行

NT ネットワークライセンス環境でも、クライアントアプリケーションの実行方法は同じです。NT ネットワークライセンス環境での違いは、実行に必要なライセンスは同時使用が制限され、必要なライセンスがすべて使用中の場合は、アプリケーションは起動できない仕組みになっている点です。



ライセンスの取得と返却

アプリケーション起動後も、各機能を実行する時点で、ライセンスの取得が行われます。
実行する機能のパッケージライセンスが不足している場合は実行できません。

機能の実行により取得したライセンスは、クライアントアプリケーション終了時にまとめてサーバーへ返却されます。

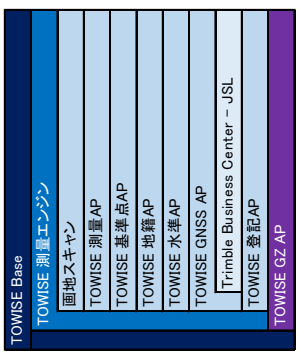


※ライセンス管理ツールでは、クライアントで取得中のライセンスを確認すると共に、アプリケーションを終了せずに部分的にライセンスを返却することができます。

ライセンスの取得単位

クライアントアプリケーションのライセンスの取得単位は、パッケージの構成条件（販売条件）と同様です。
機能を実行した時点で取得されるライセンスは、オプションパッケージの構成条件により、必要な共通パッケージのライセンスも同時に取得されます。

ex.) TOWISE パッケージ構成例



左記 TOWISE パッケージ構成例では、TOWISE DataCabinet を起動すると「TOWISE 測量エンジン」の他に「TOWISE Base」ライセンスが必要となり、「TBC 基線解析連動」のコマンドを実行すると「TOWISE GNSS AP」・「Trimble Business Center - JSL」のライセンスも必要になります。

※各アプリケーションのパッケージ構成については、最寄りの販売店等にご確認下さい。

6. ライセンス管理ツールの利用

ネットワークライセンス管理ツール

NT ネットワークライセンス環境では、ライセンス管理ツールが提供されます。
ライセンス管理ツールには、サーバー用とクライアント用があり、若干機能が異なります。



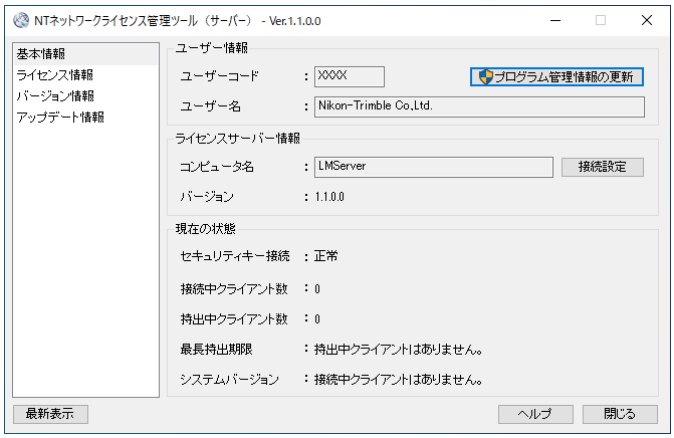
※サーバーとクライアントを同じコンピュータにセットアップした場合

■ ライセンス管理ツール機能一覧　　※○：搭載／－：非搭載

ライセンス管理ツール機能	サーバー	クライアント
基本情報	○	○
基本情報（プログラム管理情報の更新）	○	○
基本情報（サーバーコンピュータ名変更）	－	○
基本情報（ライセンス CD バージョンの一覧表示）	○	○
ライセンス情報	○	○
ライセンス情報（ライセンス状態の初期化）	○	－
ライセンス情報（チェックアウト期限の延長）	○	－
クライアント情報	－	○
バージョン情報	○	○
アップデート情報	○	－

基本情報の確認

ネットワークライセンス環境の基本的な情報を確認できます。

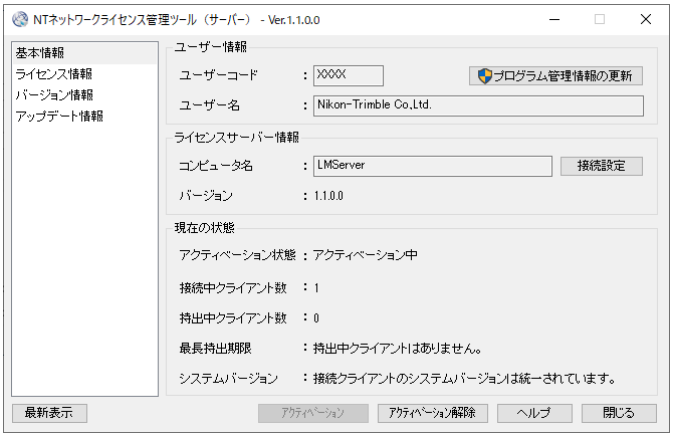


■接続設定
クライアントからサーバーを IP アドレスで指定する場合に設定を行います。（※通常は設定不要です）

■ライセンス CD バージョンの一覧を表示
ライセンスを所有するアプリケーションの CD バージョンの一覧を表示します。（※ポップアップメニューから利用できます）

オンライン認証（アクティベーション）

プログラム管理情報がオンラインセキュリティ方式の場合、インストール時にアクティベーションを実行できます。またアンインストール時にはコンピュータがライセンスをアクティベーションしている場合はアクティベーションの解除を行います。
何らかの理由により、一時的に他のコンピュータをライセンスサーバーにしたい場合は、手動でアクティベーション／アクティベーション解除を実行できます。

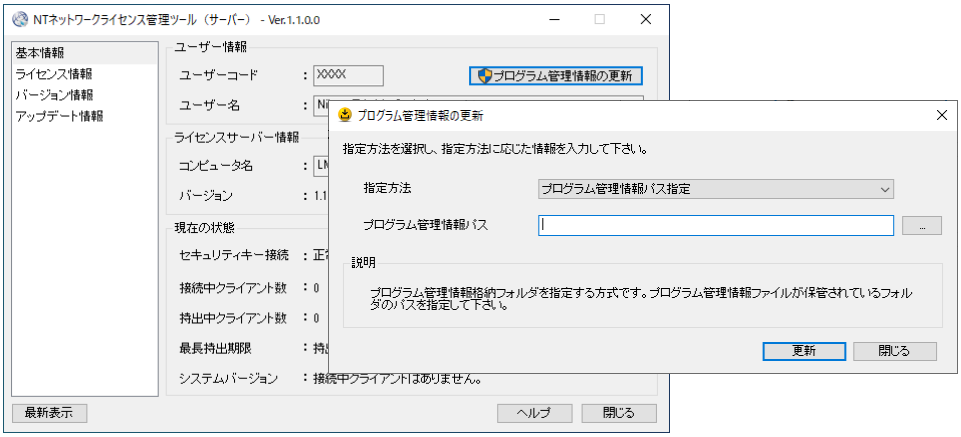


■アクティベーション
ユーザーコードに対して当該コンピュータをアクティベーションします。

■アクティベーション解除
ユーザーコードに対する当該コンピュータのアクティベーションを解除します。
このコンピュータを接続するクライアントは、ライセンスを取得できなくなります。

インストール後のプログラム管理情報の更新

ライセンスの追加購入時などに、プログラムを再インストールすることなく、プログラム管理情報を更新できます。



インストール済みのライセンスアプリケーションのバージョンと、プログラム管理情報に記載のバージョンが異なる場合は、ライセンスアプリケーションの再インストールが必要になる場合があります。

ライセンス情報の確認

すべてのライセンス情報が表示され、各購入パッケージの現在のライセンスの使用状況を確認できます。
また、使用中 PC 表示/チェックアウト中 PC 表示を切り替えると、各パッケージを使用、もしくはチェックアウト中のコンピュータ名を確認することもできます。

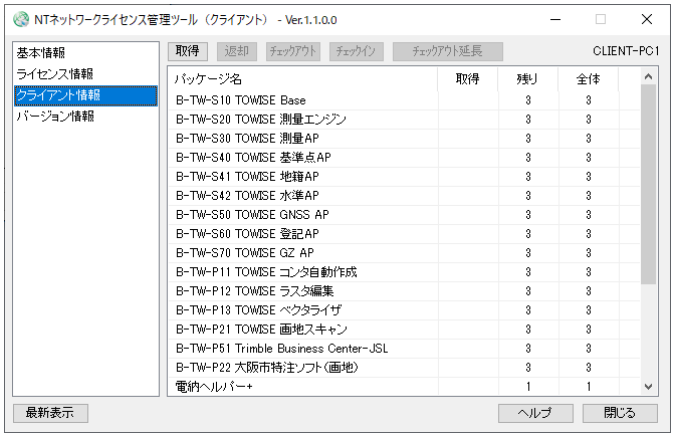


■ライセンス状態の初期化
各クライアントが取得中のライセンスを強制的にサーバーへ復帰させ、ライセンスの使用状態を初期化できます。

※ライセンスの初期化により、各クライアントは、動作中の機能に必要なライセンスの再取得を行う為、一時的に処理速度が低下する場合があります。

手動でのライセンス取得と返却

クライアント情報では、現在のライセンスの取得状態の確認の他、これから使用するライセンスをあらかじめ「取得」したり、使用を終えたライセンスを、アプリケーションを終了せずにサーバーへ「返却」したりすることができます。

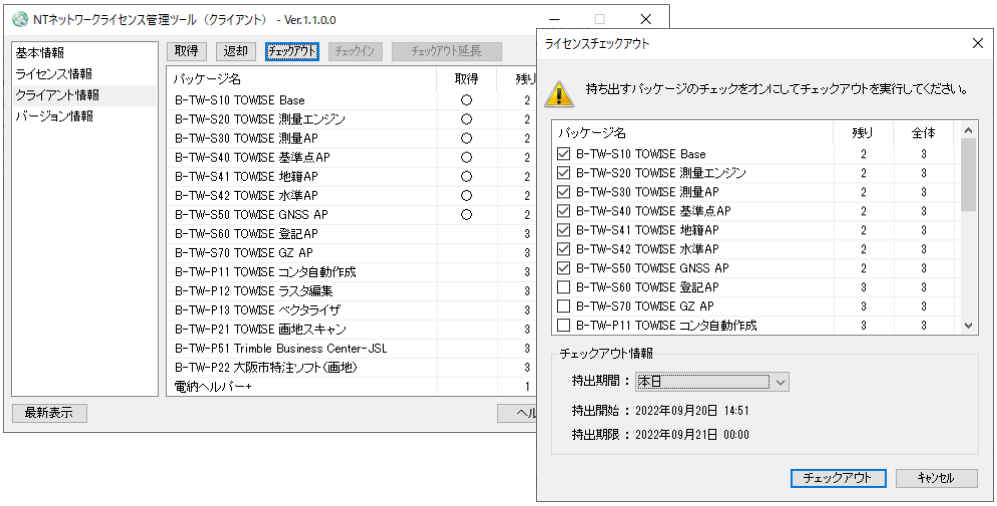




ここで「取得」したライセンスは、「返却」するかコンピュータを再起動するまで、サーバーへは返却されません。

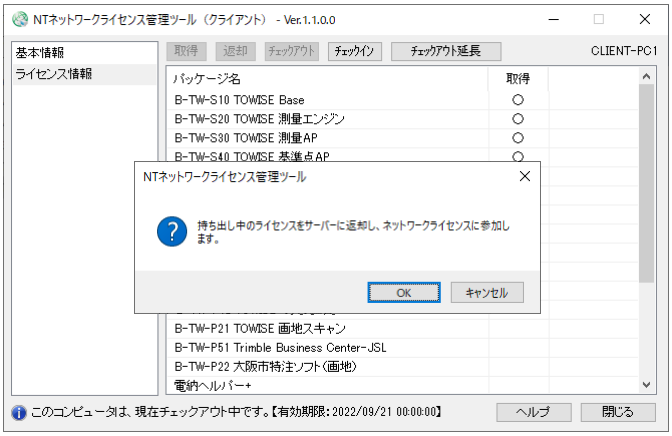
ライセンスのチェックアウト

チェックアウト機能は、クライアントをネットワークライセンス環境から切り離して利用する為の機能です。
チェックアウトしたライセンスは、設定した有効期限の範囲内でスタンドアローンライセンスと同様に利用できます。



ライセンスのチェックイン

チェックアウト中のライセンスをサーバーへ返却するには、チェックイン機能を利用します。
チェックイン機能実行後、自動的にネットワークライセンス環境に復帰します。

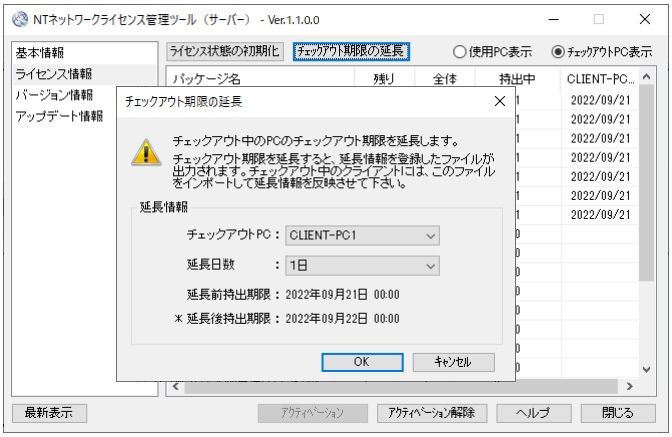


チェックアウト期限の延長

ライセンスサーバーでチェックアウト期限の延長情報ファイルを作成し、ライセンスクライアントでその延長情報ファイルを読み込んでチェックアウト期限を延長できます。
ライセンスサーバーに登録されているプログラム管理情報がオンライン認証用の場合は、ライセンスサーバーでチェックアウト期限の延長情報ファイルを作成することなく、クライアントからインターネットを介して直接チェックアウト期限を延長できます。

チェックアウト期限の延長情報ファイルを使った期限の延長

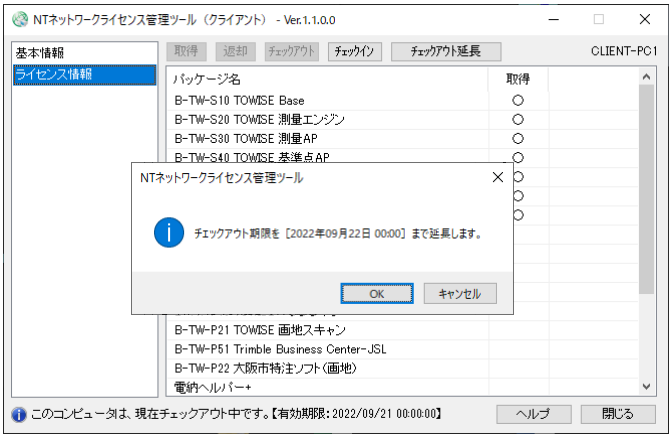
＜ライセンスサーバーでの操作＞
チェックアウト PC・延長日数を選択して OK をクリックし、ファイル名を入力してチェックアウト期限の延長情報ファイルを作成します。作成したファイルをメールに添付するなどしてクライアントに渡します。





チェックアウト期限経過後に延長することはできません。

＜ライセンスクライアントでの操作＞
メールなどを介して受け取ったチェックアウト期限の延長情報ファイルをドラッグし、ライセンス情報ページにドロップして読み込みます。

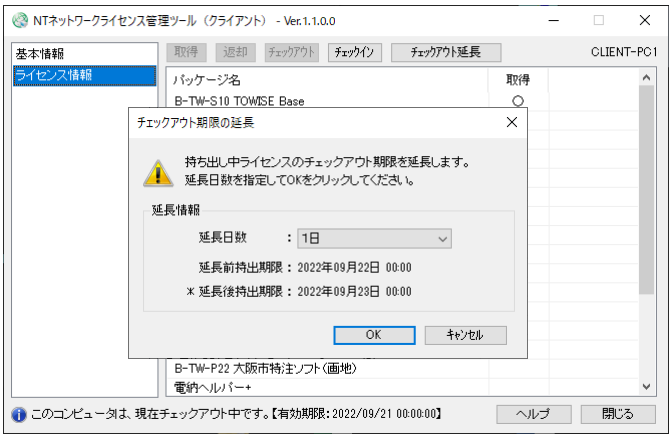




サーバーでチェックアウト期限を延長した場合は、クライアントで延長情報ファイルを読み込むまでは、チェックインおよびクライアントからのチェックアウト期限の延長はできません。

クライアントからインターネットを介したチェックアウト期限の延長

プログラム管理情報がオンライン認証用の場合は、クライアントから直接チェックアウト期限を延長できます。





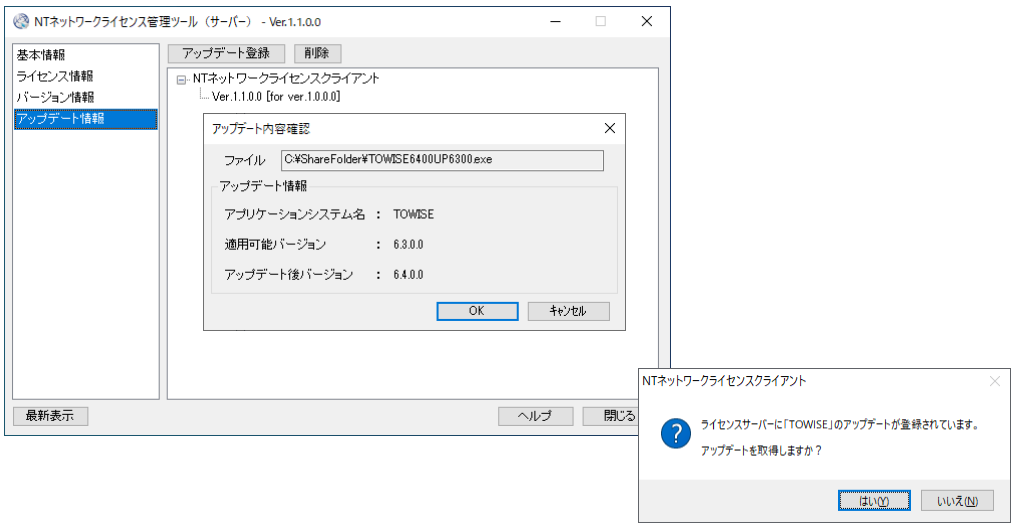
チェックアウト期限経過後に延長することはできません。

クライアントのバージョン管理

NT ネットワークライセンスでは、利用するアプリケーションのバージョン管理を容易にする、アップデート登録機能とバージョン情報表示機能があります。

■ アップデート登録

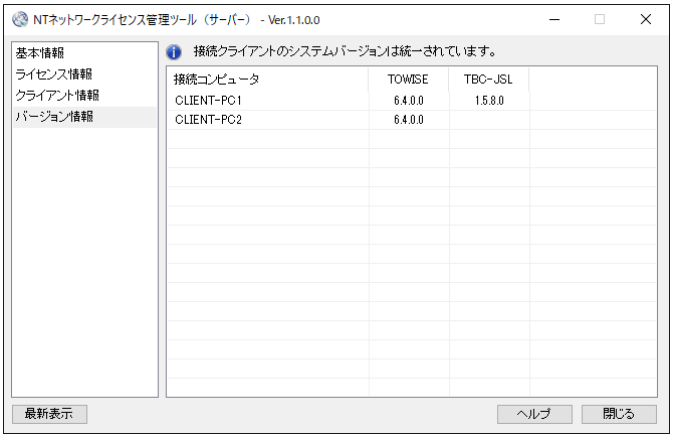
NT ネットワークライセンス対応の各アプリケーションのアップデートモジュールを登録しておくと、クライアントアプリケーション実行時に自動的にアップデートが適用されます。



※画面はアプリケーション起動時のメッセージ

■ 接続クライアントのバージョン確認

接続しているクライアントがインストールしているアプリケーションとバージョンを確認できます。





アプリケーションバージョンは、統一してご利用下さい。

7. 障害対策

サーバーに関する障害対策

■ サーバーコンピュータが故障した場合

NT ネットワークライセンスのサーバー機能を設置したコンピュータが起動しなくなるなどの故障が発生した場合、すべてのライセンスが利用できなくなります。
代替コンピュータを選定し、本書の手順で新たにサーバー機能をセットアップして下さい。
各クライアントは、ライセンス管理ツールの基本情報設定でサーバーコンピュータの設定を変更後に利用を再開できます。
故障したコンピュータの復旧後は、同様の手順で設定を変更して下さい。

■ サーバーセキュリティキーが故障した場合

サーバーセキュリティキーが故障した場合、弊社サポート窓口までご連絡下さい。
セキュリティキー交換にかかる一定期間、サーバー機能を動作させる為の対処ツールをお送りします。



セキュリティキーを認識しなくなった場合は、キーの個体不良を識別する為、クライアントコンピュータへ接続して確認して下さい。接続の確認には、NT ネットワークライセンス対応アプリケーションに付属している「プロテクトキー参照ツール」が利用できます。

クライアントに関する障害対策

■ クライアントアプリケーション強制終了時の対処

クライアントアプリケーションが強制終了した場合、取得中のライセンスはサーバーに返却されていません。
クライアントが取得中のライセンスは、次回アプリケーションを再起動した時点で初期化されます。アプリケーションの再起動が困難な場合は、ライセンス管理ツール（サーバー）の「ライセンス情報－使用状態の初期化」機能を実行して下さい。

■ チェックアウト中コンピュータの故障/紛失

ライセンスのチェックアウト中にコンピュータの紛失や故障が発生した場合は、チェックアウトしたライセンスをサーバーへチェックイン（返却）することはできません。
チェックアウトしたライセンスは、チェックアウト時に設定した有効期限が経過すると自動的にサーバーへ復帰する仕組みになっていますので、有効期限が経過するまでお待ち下さい。
チェックアウト時に設定する有効期限は、このような事態を考慮の上設定して下さい。

8. 制限事項

■ サーバーセキュリティキーは、1台のコンピュータでしか利用できません。

サーバー用セキュリティキーには、インストールしたコンピュータに固有の情報が記録されます。サーバーコンピュータの移行時などは、セキュリティキーが複数の（新旧の）コンピュータで利用できない点にご注意下さい。

サーバー用セキュリティキーは、常に、最後にセットアップしたコンピュータでのみ利用可能です。

■ クライアントが動作中の場合は、プログラム管理情報更新機能を利用できません。

クライアントがライセンスを取得、もしくはチェックアウトしている状態では、ライセンス管理ツールの「基本情報－プログラム管理情報更新」機能は利用できません。

ライセンスを追加購入いただいた場合など、プログラム管理情報の更新が必要な場合は、すべてのライセンスが未使用の状態で実施して下さい。

■ チェックアウト中は、サーバーセットアップでプログラム管理情報を変更できません。

チェックアウト状態のライセンスが含まれる場合、サーバー機能のセットアップでは前回のセットアップ時に指定したプログラム管理情報でしかインストールできません。

ライセンスを追加購入いただいた場合など、複数のプログラム管理情報をお持ちの場合はご注意下さい。

■ システム時計の変更を繰り返すと、ライセンスがロックされます。

チェックアウトライセンスの有効期限管理など、NT ネットワークライセンスではシステム時計を利用した処理を行っています。

動作中にシステム時計の変更が検出されると、有効期限管理が不能になりライセンスがロックされる仕組みになっています。（検出２回目でロック）

ロックされたライセンスの解除は弊社サポート窓口での対応となりますが、ロックが解除できるまでの間、すべてのライセンスがご利用できなくなります。

ライセンスのチェックアウト中は、システム時計を変更しないようご注意下さい。

■ TOWISE ベクトル変換オプション機能の特殊なライセンス取得について。

TOWISE のベクトル変換オプションに含まれるラスタスナップ機能の強化（ベクトル変換エンジンを用いたスナップ機能/ラスタの端点・交点認識）を利用するには、ベクトル変換コマンドの実行が必要です。

通常、ベクトル変換エンジンを用いたラスタスナップ機能は、ベクトル変換オプションライセンスの有無によって自動的に有効になりますが、ネットワークライセンス環境では、ベクトル変換コマンドを起動してライセンスが取得状態になった場合に実行される仕組みになっています。

ネットワークライセンス環境でベクトル変換エンジンを用いたラスタスナップ機能を有効にするには、一度ベクトル変換コマンドを起動して下さい。

※本件について、TOWISE 製品資料に詳細な説明がある場合は、そちらを優先して参照下さい。

9. 付録

コンピュータ設定の手引き

「3. コンピュータのセットアップ」で説明する、ファイル共有サービス、ファイアウォール、ユーザーアカウントの設定は、コントロールパネルから行います。

■コントロールパネルの表示

OS	操作手順（設定の所在）
Windows Server 2022	[スタートメニュー]-[コントロールパネル]
Windows Server 2019	[スタートメニュー]-[コントロールパネル]
Windows Server 2016	[スタートメニューの上でポップアップ表示]-[コントロールパネル]
Windows Server 2012	[スタートメニューの上でポップアップ表示]-[コントロールパネル]
Windows 11	[スタートメニュー]-[コントロールパネル]
Windows 10	[スタートメニュー]-[コントロールパネル]
Windows 8.1	[スタートメニューの上でポップアップ表示]-[コントロールパネル]

以降より、コントロールパネル以降の操作手順について補足します。

■ファイル共有サービスの設定

OS	操作手順（設定の所在）	設定内容
共通	[ネットワークの状態とタスクの表示]-[共有の詳細設定の変更]	「ファイルとプリンターの共有」を有効 「パスワード保護共有」を無効 ※1

※1.ゲストアカウントを有効にする場合の設定項目です。

■Windows ファイアウォールの例外設定

OS	操作手順（設定の所在）	設定内容
共通	[システムとセキュリティ]-[Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可]	「ファイルとプリンターの共有」をチェック

■ユーザーアカウントの設定（ゲストアカウントを利用する場合）

OS	操作手順（設定の所在）	設定内容
Windows Server 2022	[スタート]- [コンピューターの管理]-[ローカルユーザーとグループ]-[ユーザー]-[Guest]	「アカウントを無効にする」をチェックオフ
Windows Server 2019	[スタート]- [コンピューターの管理]-[ローカルユーザーとグループ]-[ユーザー]-[Guest]	「アカウントを無効にする」をチェックオフ
Windows Server 2016	[スタート]- [コンピューターの管理]-[ローカルユーザーとグループ]-[ユーザー]-[Guest]	「アカウントを無効にする」をチェックオフ
Windows Server 2012	[アカウントの種類の変更]	「Guest」アカウントをオン
Windows 11	[スタート]- [コンピューターの管理]-[ローカルユーザーとグループ]-[ユーザー]-[Guest]	「アカウントを無効にする」をチェックオフ

Windows 10	[スタート]- [コンピューターの管理]-[ローカルユーザーとグループ]-[ユーザー]-[Guest]	「アカウントを無効にする」をチェックオフ
Windows 8.1	[ユーザーアカウント]-[別のアカウントの管理]	「Guest」アカウントをオン

◆ このプログラムおよび使用説明書は、著作権上、当社に無断で使用、複製することはできません。
◆ このプログラムおよび使用説明書の使用によって発生する直接・間接・特別・偶然または必然的な損益については、一切の責任を負いません。
◆ 本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社にご連絡下さい。
◆ このプログラムおよび使用説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

発行: 2022 年 11 月

株式会社 ニコン・トリンブル

http://www.nikon-trimble.co.jp/